

外国語科学習指導案

日時 11月 6日(金) 5限
 指導者 須藤 礼子 サラ・ヴァーン
 姫野 浩明
 学級 3年1組(31名)

- 1 単元名 日本の文化を紹介しよう。
(Lesson5 "Houses and Lives")
- 2 単元目標 (1)自分で調べた日本の伝統的なものを、学んだ英語を用いて紹介することができる。
(2)間違いを恐れずに学んだ英語を用いて積極的にコミュニケーションをとろうとする。
(3)関係代名詞の文の構造を理解している。
(4)「話すこと」の言語活動に必要な自分の国の文化的な背景について理解している。

3 単元の評価基準

評価	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
評価基準	①ゲームや会話の中で学んだ英語を積極的に使って、コミュニケーションを取ろうとしている	①日本の伝統的なものについて、紹介することができる。	/	①関係代名詞を用いた文の構造を理解している。 ②「話すこと」の言語活動に必要な自分の国の文化的な背景について理解している。

4 単元設定の理由

Lesson5 では、関係代名詞(主格・目的格)を学習する。これを使って、日本の伝統的なものを、紹介できるようにさせたい。また、3年間の英語学習の成果として、これまで学習してきたいろいろな言語材料を使って、ある程度のまとまりのある英文を書いたり、話したりできるようにさせたい。

本学級の生徒は、明るく授業にも積極的に参加しようとする生徒が多い。しかし、集中が継続しない生徒や、基礎的な内容の定着ができていない生徒が多くおり、とても心配される。毎日の課題プリントや補充学習等を通じて、be 動詞等の基本的文法事項からの復習を行ってきたが、まだまだ十分な状態とは言えない。また、昨年5月に行った意識調査の中では、約45%もの生徒が、「英語の活動は苦手だ」と答えており、指導においては、何より興味・関心を持たせることに力を入れてきた。身近なテーマを設定したり、相手意識を持たせて学習活動を仕組むなどの工夫を続けてきたところ、この10月に行った調査では、73%の生徒が「英語の活動は楽しい」と答えるようになった。特に、writing や speaking などの out-put の活動に対して、大きな抵抗感を持っていた生徒の多くが、今では chat などの speaking 活動に楽しそうに参加している。しかし、writing になると、まだまだ消極的になる生徒が多く、今後の課題である。

3年生の2学期には、自分の国の文化について紹介できるようになることを目標としている。そこで、自分の興味のある日本の伝統的なものについて調べ、調べた情報を元に、英語でプレゼンテーションをする活動を設定した。これらのプレゼンテーションは、APUの留学生を招待して行う International Exchange にて、発表する予定である。また、この会では、庄内中学校の下級生に、英語を使うことの楽しさを伝えることも目標とさせたい。英語を苦手と感じている生徒には、small step による学習過程を工夫し、自分でやれたという自信を持たせるようにしていきたい。

5 単元の指導計画

ねらい・学習活動	
第1時	Program 全体の新出単語の導入をする。
第2時	関係代名詞（主格）の文の構造を理解する。
第3時	教科書本文を通して、関係代名詞（主格）を理解する。
第4時	関係代名詞（目的格）の文の構造を理解する。
第5時	教科書本文を通して、関係代名詞（目的格）を理解する。
第6時	自分の紹介したい日本の文化についてテーマを決め、調べる。
第7時	調べた内容を英語で書く。
第8時	紹介したい内容をマッピングしてみる。
第9時	書いた内容をプレゼンテーションする練習をする。
	International Exchange にて発表する。

(本時)

6 本時

(1) ねらい

日本の文化について紹介する活動で、発表のとき大切にしたいことを意識しながら練習をすることを通して、自分の伝えたい内容を整理し、表現方法を考えることができる。

(2) 展開

具体的な学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
1Greeting	・英語で挨拶する。	
2Warm-up	・ Speed Speaking Learning をする。 ・ Chat 活動をする。 ・ Chat で話した内容を書く。	・ 意欲的に会話している。 (ア)
3Pre-Speaking	・ 本時の活動内容を確認する。 ・ ALT の先生のアメリカの文化を紹介するプレゼンテーションを聞く。 ・ プレゼンテーションの活動で大切なことを話し合う。	・ delivery など、プレゼンテーションで大切にしたいことについて、気づかせる。 ・ audience のとるべき態度についても考えさせる。
4 Speaking	・ プレゼンテーションの活動で大切なことを意識しながら、自分で言う練習をする。 ・ 3 人組でロールプレイを行い、お互いにアドバイスをする。	・ 聞いてくれる相手を意識させながら、練習をさせる。 ・ presenter, audience, 観察者の役に分かれて、ロールプレイをさせる。 ・ 互いの良いところを認め、さらに良くするための方法を探らせる。
5Consolidation	・ 代表のプレゼンテーションを紹介する。 ・ さらによくなるためのアドバイスをする。	・ 代表を選び、プレゼンテーションをさせる。 ・ 工夫している点について、意見を出し合う。
6 Closing	・ 英語で挨拶をする。	

Observation Sheet (観察シート)

About Presentater (プレゼンターへ)

	Deliver (アイコンタクト・笑顔など)	Voice (発声、発音)	Content (内容)
Excellent Wonderful			
Very Good			
Good			
So - so			
Try hard (on ~)			

About Audience (聞き手へ)

	Reaction (リアクション)	Responce (返答や質問など)
Excellent Wonderful		
Very Good		
Good		
So - so		
Try hard (on ~)		